

認定

島田の逸品

2015

～産品が持つ市の魅力を高め伝えよう～

新市誕生から10年を迎え、市内産業のさらなる飛躍を目指し、商工団体や高校生などを含む15人の選考委員が応募産品の中から10品を選び、「島田の逸品」として市が認定しました。市では今後、市の魅力が詰まった逸品を、日本・世界へ向けて発信していきます。この機会に私たちが暮らすまちの魅力を知り、市全体で認知度の向上につなげていきましょう。

☎商工課 36・7164



■島田の逸品とは

5項目の認定基準を満たした上で、市の魅力と認知度を向上させる可能性のあるシンボリック的存在として認定を受けた産品です。

■認定基準

- ① 島田市の歴史、文化、伝統、自然が表現されている。
- ② 島田市の認知度を向上させることができる。
- ③ 同種商品において他と異なる特長を有している。
- ④ おもてなしの心が感じられる産品である。
- ⑤ 商品の開発、または販売にストーリー性がある。

■逸品が持つ可能性

- ① 魅力に気付くきっかけ
産品という形で、私たちにまちの魅力を教えてくれます。
- ② 魅力を守り続ける手段
まちの歴史・文化・伝統の大切さを伝えるとともに、それらが途絶えることのないよう守っています。
- ③ 新たな魅力の創出
培われてきた経験と技術を生かし、その時代に合った新しい産品が生まれられます。
- ④ まちの魅力を育む
逸品は私たちの誇り。私たちの美しい目とその産品を育み、やがて私たちの口が架け橋となって魅力を伝え広めてくれます。

ハンド・カー おやむころ (ベビー用手押し車)

木材集積場があり、茶箱などの製造が盛んだった島田で、ベビー用手押し車「カタカタ」が作られ始めたのは約50年前。当時のニーズにマッチし、瞬く間に特産品になりました。赤ちゃんの足腰の健やかな成長に最適です。



製造：(株)前川木工所

HATAGO (桧製畳ベッド)



製造：丸軌木材(株)

「木都 島田」で木製ベッドを作り続けて40年。これまでの経験や知識、職人技をつなげていきたいという願いを込め、地元産「天然桧」と、体や環境に優しいオリジナル水性塗料で作り上げた、自然を肌で感じられるベッドです。

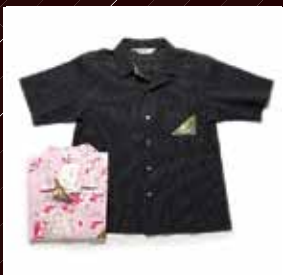
島田のスペシャルティーバッグアソート

島田市産の茶葉から作った3種の味を楽しめるティーバッグの詰め合わせ。従来のお茶商品のイメージとは異なる鮮やかなポップカラーのパッケージは、市に訪れた皆さんの目を止め、手に取ってもらうための工夫です。



製造：(有)キムラ加工

島田帯シャツ



製造：島田帯シャツブランド協議会

島田帯まつりをイメージした商品を追い求め、たどり着いたのが「島田帯シャツ」です。帯シャツ協議会の加盟店が、クールビズの商品として販売しています。各商店の個性が伺われる、魅力的な品揃えとなっています。

島田の逸品 2015

逸品を生産者の思いなどを含めて紹介します。逸品が持つ市の魅力を、ぜひ、あなたの誇りとして多くの人に伝えていきましょう。

■ 今後の出展予定箇所

① 島田市成人式

新成人の皆さんに、地元の魅力に気付くきっかけにしてもらいます。

② 富士山静岡空港

就航先から訪れた観光客などに、島田市の魅力を知ってもらいます。

③ 春の関東甲信静観光展 (池袋)

都内で開催する物産展に出展し、大都市からの交流人口拡大を狙います。

※ 出展が決まり次第、随時お知らせしていきますので、ぜひ、お友達やご家族と一緒に足を運んでみてください。



製品の説明をする生産者の皆さん

日本に誇る島田のモノがたり

黒大奴

帯まつりに登場する「大奴」にちなんで名付けた黒大奴は、明治の世に生まれた人気商品。時代の波にのまれることなく伝統の味を守ってこられたのは、皆さんに愛されてきたからです。いつもと変わらぬ味を守り続けます。



製造：(株)清水屋

大井川最中

江戸時代に、島田宿で使われていた「島田通用百文」という木札の形を模した最中で、昭和 50 年頃に誕生しました。柔らかく腰の弱めの求肥と甘味を抑えた最中あんととのバランスが絶妙で、皆さんから親しまれています。



製造：(株)みのや

大人のご褒美「抹茶生チョコ」「焙茶生チョコ」



製造：(株)カネス製茶

お茶へのこだわりから生まれた、島田市を代表する深蒸し茶とピッタリ合う贅沢な生チョコで、世界お茶展示会などでも高い評価を得ました。本物志向のチョコを通じて、おもてなしの心が広く世界へ伝わればと思っています。

家康公の勝鬨餅



製造：菓子処 叶家

江戸時代に栄えた東海道の宿菊川（現金谷地区）の名物「飴餅」を再現。徳川家康が合戦前に食したと言われていることから「家康公の勝鬨餅」と名付けました。「子育飴」を使用するなど、当時に近い材料と作り方にこだわった逸品。

選ばれた逸品が全国に知れ渡ってほしい



島田の逸品選考委員

おだ 小田しずくさん（左／島田商 1 年） おおいし み 穂さん（右／島田商 2 年）

小田さん「選考委員会では、生産者の皆さんが目の前で熱い思いを語ってくださり、高校生の私が採点しているのかと思いました。どの逸品も島田らしさに溢れているので、ぜひ、全国に羽ばたいてほしいです」
大石さん「高校生の視点で選考するように心掛けました。パッケージに島田の歴史などが書かれているものもあり、地域を知る良いきっかけとなりました。他の高校生や地域の人たちに、広めていきたいと思っています」

燻製紅茶（ウイスキー樽材使用）

国産初となる茶葉を燻した、香料などを使わない無添加の紅茶です。「地元の茶葉で世界に無いお茶を作りたい」という一心で、失敗と挑戦を繰り返し完成しました。独特のスモーキーな香りは、チョコレート・生ハムに最適。



製造：カネロク松本園

好きだっ茶（携帯粉末容器）



製造：(有)浅原工業

茶業関係者にお茶の売れるアイデアを考えてほしいと頼まれ、当時の流行語「エコ」「携帯」から開発された、粉末茶を入れて持ち歩けるペン型の容器です。お茶以外にも、ふりかけ・香辛料・調味料などを自由に持ち運べます。